
読者への挑戦シリーズ第1弾～謎の落書き～ 問題編

不動桐生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

読者への挑戦シリーズ第1弾「謎の落書き」

問題編

【Nコード】

N6770B

【作者名】

不動桐生

【あらすじ】

この謎を解くのはあなただけ！頭を存分に使おう！

学校で1番嫌いな時間と言ったら、パソコンの授業だ。
エクセルやらワードやら、退屈だ。

そんな時間に飽き飽きして、何気なく机を見たら、「Tなんて嫌い。
死ねばいいんだ。」
という、たちの悪い落書きを発見した。

その時は別に気にも止めなかった。

だが、2日後の水曜日、再びパソコンの授業を受けるため、パソコン室へやってきた。

机は出席番号順になっているので、座るところはいつも一緒である。

席に座った瞬間、一昨日の落書きのことを思い出す。

何気なく。本当に何気なく机を見た。

そこには、「わたしもTが嫌いだ。わたしが命を奪ってあげよう」という書き込みが。

一昨日の落書きは残っていなかった。

さて、ここで問題。

この書き込みに返事をした人は、誰でしょうか。
解決に必要な情報を、ここに提供する。

まず、主人公が第1の書き込みを見つけたのは、月曜の3時限目。
第2の書き込みを見つけたのは、水曜の6時限目。

月曜にその机を使うのは、1、3、5時限目。

1時限目はB、5時限目はCがその机を使っている

火曜日は3時限目でCが使っている。

水曜日は1、5、6時限目で、1はE、5時限目はBが使っている。

ちなみに、4時限目が終わると、パソコン室を管理しているF先生が、机のチェックをして回る。

この時に、落書きは消される。

以上の情報をもとに、第1の落書きをした人と、第2の落書きをした人をつきとめろ。

普通に考えればわかるはず。

(後書き)

解答を知りたいかたは解決編へどうぞ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6770b/>

読者への挑戦シリーズ第1弾～謎の落書き～ 問題編

2010年10月11日23時54分発行